

平成31年度

群馬県公立高等学校

入学者選抜学力検査問題

国語

(後期選抜)

注 意 事 項

- 1 「始めなさい。」の指示があるまで、問題用紙を開かないこと。
- 2 解答は、全て、解答用紙に記入すること。
- 3 「やめなさい。」の指示があったら、直ちに筆記用具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置くこと。
- 4 問題は、1ページから7ページまであります。
- 5 解答用紙の、小計の欄には何も書かないこと。

次の文章を読んで、後の(一)～(四)の問い合わせに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

著作権の関係により本文は省略します。

(四) 文中B——「四〇億年にわたる「いのち」の旅をいまに伝える、生きものたちの多様性」とあります。本文では、生きものたちはどうすることで多様性を手に入ってきたと述べられていますが、四十字以内で書きなさい。

(伊藤明夫『40億年、いのちの旅』による。)

(注) 汽水……淡水と海水が混じり合った、塩分の少ない水。

ホモ・サピエンス……現生人類としての「ヒト」を表す学名。

(五) 文中C——「私たちは知恵を出しあって、自滅の道を歩まないよう

したいのです」とありますが、ヒトが自滅の道を歩まないために、

あなたならどのような提案をしますか、本文の内容に触れて、百四十字以上、百八十字以内で書きなさい。

(一) 文中⑦——⑨——の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

(二) 文中□に当てはまる語として、次のア～エから最も適切なもの

を選びなさい。

ア いまや イ 必ずしも ウ それでも エ ましてや

(三) 文中A——「これらには、タガメ、メダカ、エビネ、キヨウ、

サクラソウなど、かつては私たちのまわりで普通にみられた動物や植物もふくまれています」とあります。この一文には、読者にどのようにことを気づかせる役割があると考えられますか、書きなさい。

二 次の文章を読んで、後の(一)～(四)の問い合わせに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

著作権の関係により本文は省略します。

(二) 文中A——「藤士郎は、熟練の人夫と思しき男の後ろにつき、その動きを逐い、真似るようにした」とあります。が、「藤士郎」が「熟練の人夫と思しき男」の動きを真似るようには、どのようなことが大切だと思ったからですか、書きなさい。

(三) 文中B——「我ながら身勝手なものだ」とあります。が、このように「藤士郎」が考えるのは、「今朝」と「今」で「お代」への気持ちがどのように変化したためですか、荷物担ぎという仕事に対する考え方について、書きなさい。

(四) 本文全体の表現の特徴として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア 簡潔な表現を重ねることで歯切れのよさを生み出すとともに、回想場面を挿入して登場人物の心情を巧みに描いている。

イ 比喩表現を用いることで登場人物の心情を効果的に表すとともに、現代の若者言葉を取り入れて読者に親近感を持たせている。

ウ 難解な語を用いることで物語全体に厚みを持たせるとともに、様々な登場人物の視点を通して複雑な人間関係を表現している。

エ 時間の流れに沿って描写することで理解させやすくするとともに、なじみやすい言葉を用いて歴史的事実が頭に入るよう工夫している。

- (一) 文中□に共通して当てはまる語句として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。
- ア 意地悪げな態度
 - イ 迷惑ぞうな表情
 - ウ 分別くさい表情
 - エ よそよそしい態度

三 次の文章を読んで、後の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 文中A——「洗ひ」を現代仮名遣いで書きなさい。ただし、全て平仮名で書くこと。

(二) 次の会話文は、春雄さんたちが、文中B——「人々笑ふとき」について話し合ったときの会話の一部です。これを読んで、後の①～③の問いに答えなさい。

春雄さん 人々はどうして笑つたのかなあ。

千秋さん 「わかき童」の言葉に、地名の羽根から□を連想するという、子どもらしい無邪気さがあつたからよ。

春雄さん なるほど。その連想から、次に「ありける女童」が

よんだ歌の中で「□がごとくに」というたとえを用いていいるんだね。

夏子さん じゃあ、本文の最後に「人々忘れず」とあるのは、その連想がおもしろかったからかな。

冬実さん どうかしら。「この歌よしとにはあらねど」とあるから、違うと思うわ。

① 会話文中□に当てはまる言葉を、本文から二字で抜き出して書きなさい。

② 本文中の和歌と会話文中の□に共通して当てはまる語として、次のア～エから最も適切なものを見びなさい。

ア 泳ぐ イ 飛ぶ ウ 乗る エ 走る

(『土佐日記』による。)

(注) 室津……現在の高知県室戸市室津のこと。一行が船で都に帰る途中で寄ろうとしている場所。

③ 夏子さんと冬実さんは、本文中――「人々忘れず」に着目しています。「人々」が「ありける女童」の歌を忘れないのはどうしてだと考えられますか、冬実さんの発言を踏まえて書きなさい。

四 次の文章を読んで、後の(一)～(三)の問い合わせに答えなさい。

(一) 文中□に当たる漢字一字を、本文から抜き出して書きなさい。

(三) 文中B——「大丈夫」とあります。本文から読み取れる「大丈夫」はどのような人物のことですか。次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

書き下し文

(『孟子』による。)

五 次の(一)、(二)の問い合わせに答えなさい。

ア 場面や相手によって、態度が変化する人物。
イ どのような状況でも、信念を貫き通す人物。

ウ 苦しい立場でも、物事を楽観的に捉える人物。
エ 身分に関係なく、相手を優しく包み込む人物。

書き下し文

著作権の関係により本文は省略します。

(注) 広居……広い住居のこと。ここでは「仁」をたとえている。

正位……正しい位置のこと。ここでは「礼」をたとえている。

大道……大きな道のこと。ここでは「義」をたとえている。

能……できる。

淫……心をかき乱す。

威武……權威・武力のこと。

(一) 文中A——「立_チ天下之正位」に、書き下し文の読み方になる
ように返り点を書きなさい。



(一) 次の漢字は、行書で書いたものです。この漢字の○で囲まれた部分には行書のどのような特徴が見られますか。その特徴として、ア～オから適切なものを一つ選びなさい。

ア 楷書とは違う筆順となっている。
イ 楷書ではねる部分を止めている。

ウ 楷書に比べて点画が連続している。
エ 楷書で左に払う部分を横画に変えている。

六 太郎さんと花子さんは、国語の授業中に、言葉の意味について発表することになりました。次の会話文は、発表に向けて二人が交わした会話で、

資料I、IIは発表のために準備したものです。これらを読んで、後の(一)～(三)の問い合わせに答えなさい。

太郎さん 資料Iと資料IIは、「檄を飛ばす」と「知恵熱」という言葉の意味をどう理解しているかについて、年齢別の割合を示したものだよ。

花子さん 「檄を飛ばす」は「激励する」という意味で使うことが多い気がするけど、これが本来の意味とは違うなんて知らないなかつたわ。きっとクラスのみんなも知らないだろうから、発表の最初にみんなに問い合わせてみましょ。

太郎さん それはいいね。でも、みんなが本来の意味を知らないのも無理はないと思うな。資料Iを見ると、本来の意味とは違つた意味で理解している人の割合が

A 無理はないと思うよ。それに比べて、資料IIの「知恵熱」は、五十年代を境に逆転している様子が見られるね。

花子さん 私は「知恵熱」の意味も知らないなかつたな。日本語を本来の意味で使つていない人が多いのは残念に思うわ。やはり言葉が持つ本来の意味を大切にしていくべきじゃないかしら。

太郎さん でも、『枕草子』などの古典に出てきた言葉の中には、

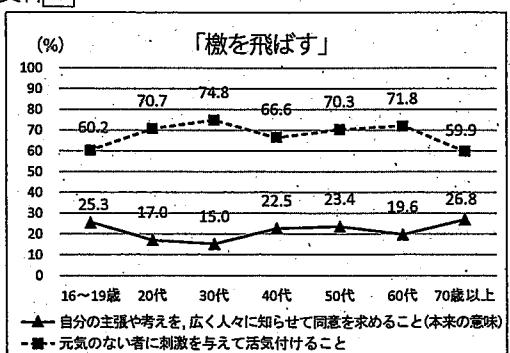
現代とは違つた意味で使われている言葉もあつたよね。

B 言葉の意味は、変化していくものなんじやないかな。新しい意味を柔軟に受け入れていくことが必要かも

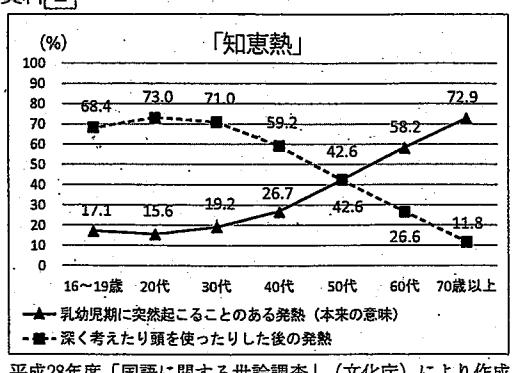
しないよ。

花子さん なるほど。それもあるかもしれないね。それじゃ、お互いの考えを示して、みんなにも考えてもらいましょうよ。

資料I



資料II



- (一) 会話文中――「発表の最初にみんなに問い合わせ」とあります。発表を問い合わせで始めることによつて、どのような効果が期待されると考えられますか、次のア～エから最も適切なものを見なさい。
- ア 多くの人々の立場が正しいものかどうかを検証する効果。
イ 聞き手が発表内容を理解しているかどうかを確かめる効果。
ウ 発表方法に興味を持たせて聞き手の視点を変化させる効果。
- エ 聞き手に考えさせることで発表内容に関心を持たせる効果。
- (二) 会話文中――には、資料Iから読み取れる内容が入ります。どのような内容が入るか、――に当てはまるように書きなさい。
- (三) 会話文中A――とB――で、花子さんと太郎さんはそれぞれ違つた意見を述べています。資料IIから読み取れることに触れて、どちらの意見を支持するか、あなたの考えを書きなさい。